



国立研究開発法人森林研究・整備機構

森林総合研究所

関西支所



交通案内



ミッション (存在意義)

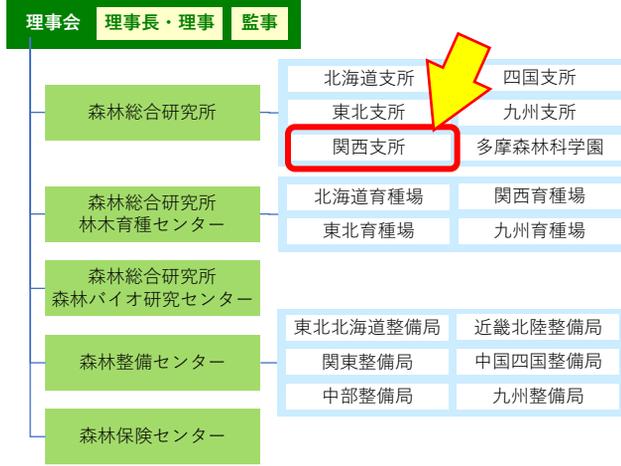
森林・林業・木材産業に係わる研究と、森林の整備や保険を通じて、豊かで多様な森林の恵みを生かした循環型社会の形成に努め、人類の持続可能な発展に貢献します

タスク (ミッションを実現するための具体的役割)

1. 科学技術の発展に貢献します
2. 安全で豊かな社会の実現に貢献します
3. 林業・木材産業の振興に貢献します
4. 国際協力の推進に貢献します

役職員数 (令和8年1月1日現在)

役員数：8 (理事長1、理事5、監事2)
 常勤職員数……：1,085 (研究職449 一般職636)
森林総合研究所：714 (研究職449 一般職265) 機構全体の66%
 つくば……：408 (研究職272 一般職136) 森林総研の57%
 つくば以外：306 (研究職177 一般職129) 森林総研の43%
 関西支所…：37 (研究職26 一般職11) 森林総研の5%



森林総合研究所

- 監査室
- コンプライアンス推進室
- 総合調整室
- ダイバーシティ推進本部
- 企画部
- 総務部
- 研究ディレクター
 - 国土保全・水資源研究担当
 - 気候変動研究担当
 - 生物多様性・生物機能研究担当
 - 林業生産技術研究担当
 - 木質資源利用研究担当
 - 木質バイオマス利用研究担当
 - 生物被害・きのこ研究担当
- 研究コーディネーター
 - 国際連携推進担当
 - 産学官民連携推進担当
 - 地域イノベーション推進担当
 - 関東中部地域担当

林業研究部門

- 植物生態研究領域
- 森林植生研究領域
- 樹木分子遺伝研究領域
- 森林管理研究領域
- 林業経営・政策研究領域
- 林業工学研究領域

森林研究部門

- 立地環境研究領域
- 森林防災研究領域
- 森林昆虫研究領域
- 野生動物研究領域
- さのこ・森林微生物研究領域

木材研究部門

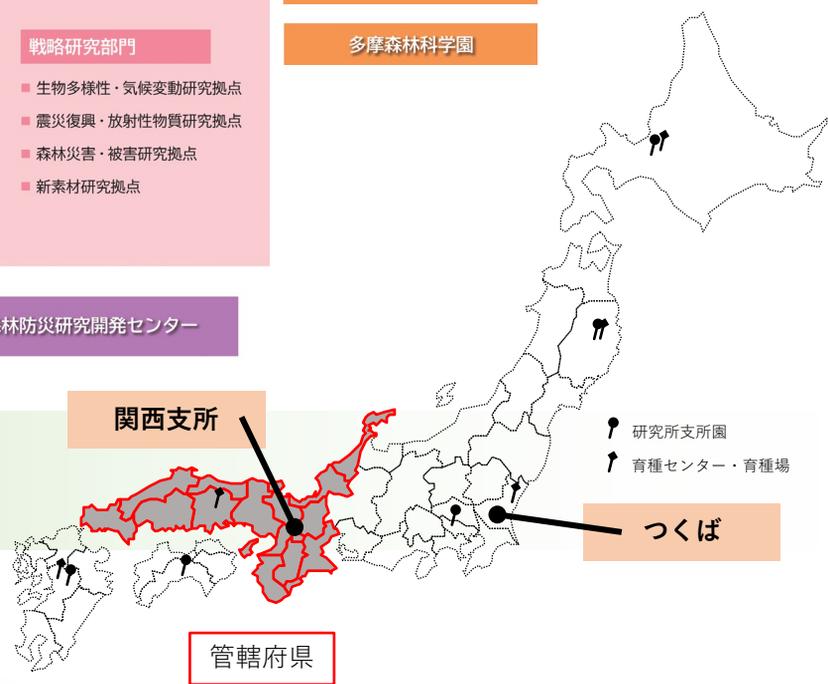
- 木材加工・特性研究領域
- 構造利用研究領域
- 複合材料研究領域
- 木材改質研究領域
- 森林資源化学研究領域

戦略研究部門

- 生物多様性・気候変動研究拠点
- 震災復興・放射性物質研究拠点
- 森林災害・被害研究拠点
- 新素材研究拠点

REDD プラス・海外森林防災研究開発センター

- 北海道支所
- 東北支所
- 関西支所**
- 四国支所
- 九州支所
- 多摩森林科学園



森林総合研究所 関西支所

関西支所においては、
**里山の公益的機能及び生産機能の自然的・社会的評価に基づく
 保全・管理手法の開発等に関する研究**
 並びにこれらに附随する業務に関することを行う。

- 石川県、福井県、滋賀県、三重県、京都府、
 大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、鳥取県、
 岡山県、島根県、広島県、山口県



西暦	和暦	記事
1905	M38	農商務省山林局林業試験所が東京府目黒村に発足
1910	M43	林業試験場に名称変更
1937	S12	農林省林業試験場高島試験地を設置 後に高島分場、現在は「竜ノ口山森林理水試験地(岡山県岡山市)」
1947	S22	林政統一に伴い、農林省林野局林業試験場に改編 農林省林業試験場大阪支場を創設して大阪営林局内に併置
1948	S23	京都市東山区七条大和大路東入るに京都分室を開設
1950	S25	京都分室が正式に大阪支場京都分室となる
1952	S27	大阪支場を京都支場と改称、京都分室を廃止。伏見区桃山町に桃山研究室を開設
1956	S31	伏見区桃山町に移転（現在地）
1959	S34	関西支場と改称
1988	S63	森林総合研究所に改編・名称変更、関西支所と改称
2001	H13	独立行政法人森林総合研究所発足、関西支所に組織変更
2015	H27	独立行政法人の3分類により、法人名表記が国立研究開発法人森林総合研究所となる
2017	H29	法人名を国立研究開発法人森林研究・整備機構に変更、森林総合研究所関西支所に改組
2026	R08	農林省林業試験場大阪支場創設（1947/S22）から79年目

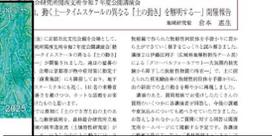


森林生態 研究グループ	広葉樹、タケ類、気候変動影響、群集生態学、育苗技術 など
森林環境 研究グループ	水文過程、物質循環、温室効果ガス、森林土壌、地形地質 など
生物多様性 研究グループ	森林昆虫、鳥類生態、野生動物、保護管理、生物多様性 など
生物被害 研究グループ	菌類生態、菌根性きのこ、樹木病害、森林害虫、病虫害防除 など
森林資源管理 研究グループ	地域資源管理、生物文化多様性、長期成長モニタリング、成長予測、林業経済 など

※上記グループの他に、特命の研究を担う「チーム長」等が研究に取り組んでいます。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 関西支所の刊行物

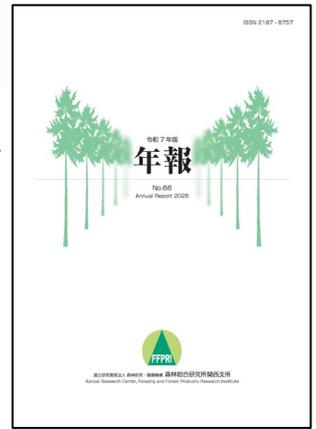


研究情報(季刊)
1986(S61)年度～

関西支所 年報
1959(S34)年度～
(2018年2月)



(2019年2月)



(2021年10月)



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 関西支所の産学官民連携



公開講演会



森林教室

- 公開講演会やセミナー、現地検討会、森林教室などの開催。
- 府県、大学、国の機関などと各種会議や交流の場を設け、研究や技術情報の交換。
- 府県、大学、外国からの研修生の受入。
- 要請に応じて、技術指導や講師の派遣、共同研究などの実施。